

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6月 30日

大分市長 足立 信也 殿

提出者

住 所 大分市大字里2111-2

氏 名 旭化成メディカル株式会社 大分事業所

生産技術統括本部長 福田 達也

電話番号 097-593-1570

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

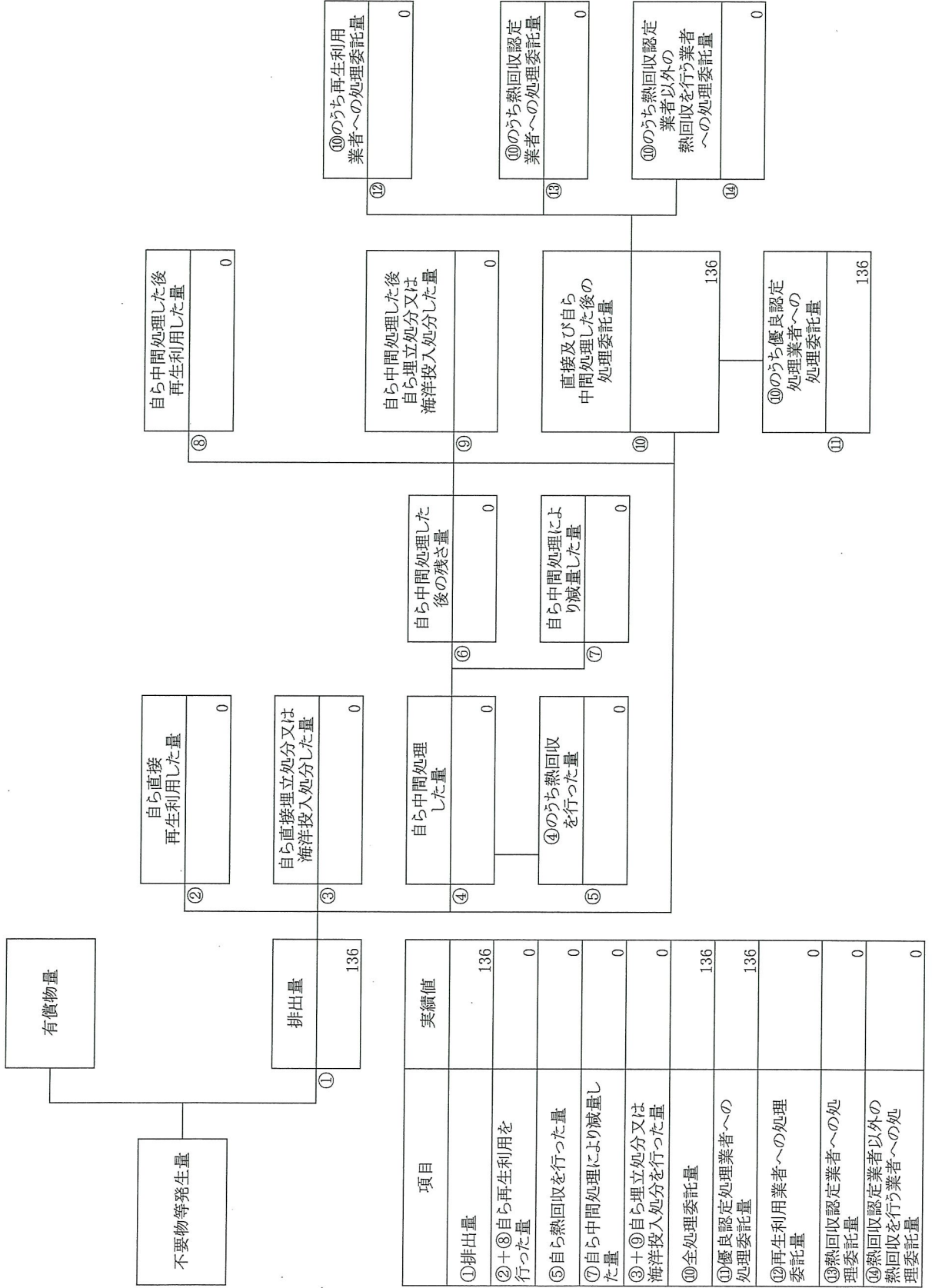
事業場の名称	旭化成メディカル株式会社 大分事業所		
事業場の所在地	大分市大字里2111-2		
事業の種類	2741 医療用機械器具製造業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月 31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1406t	全処理委託量	1406t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1282t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	0t
自ら中間処理により減少する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	71t
※事務処理欄			



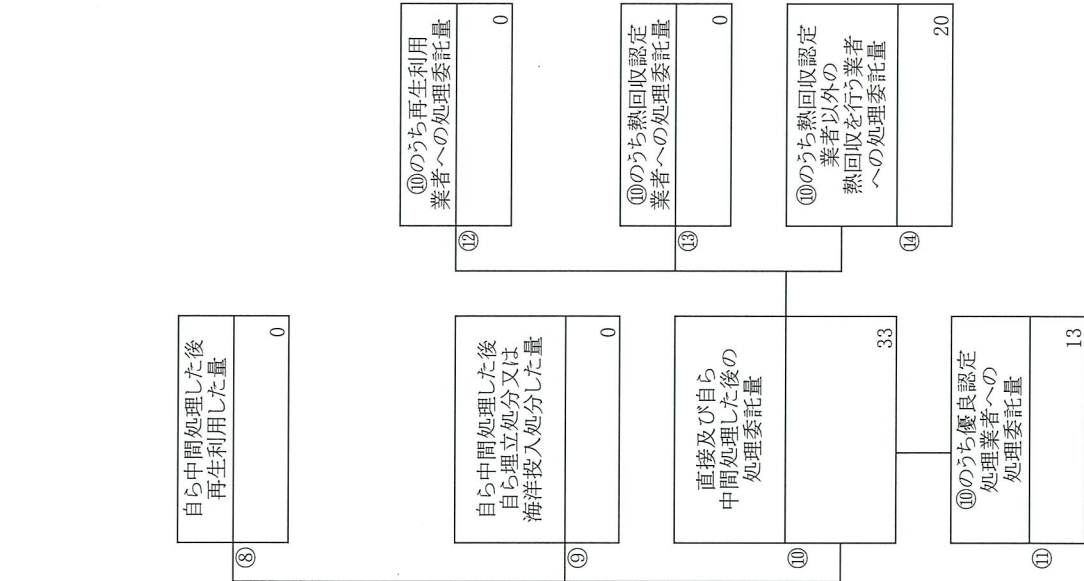
汚泥)

(産業廃棄物の種類:

計画の実施状況

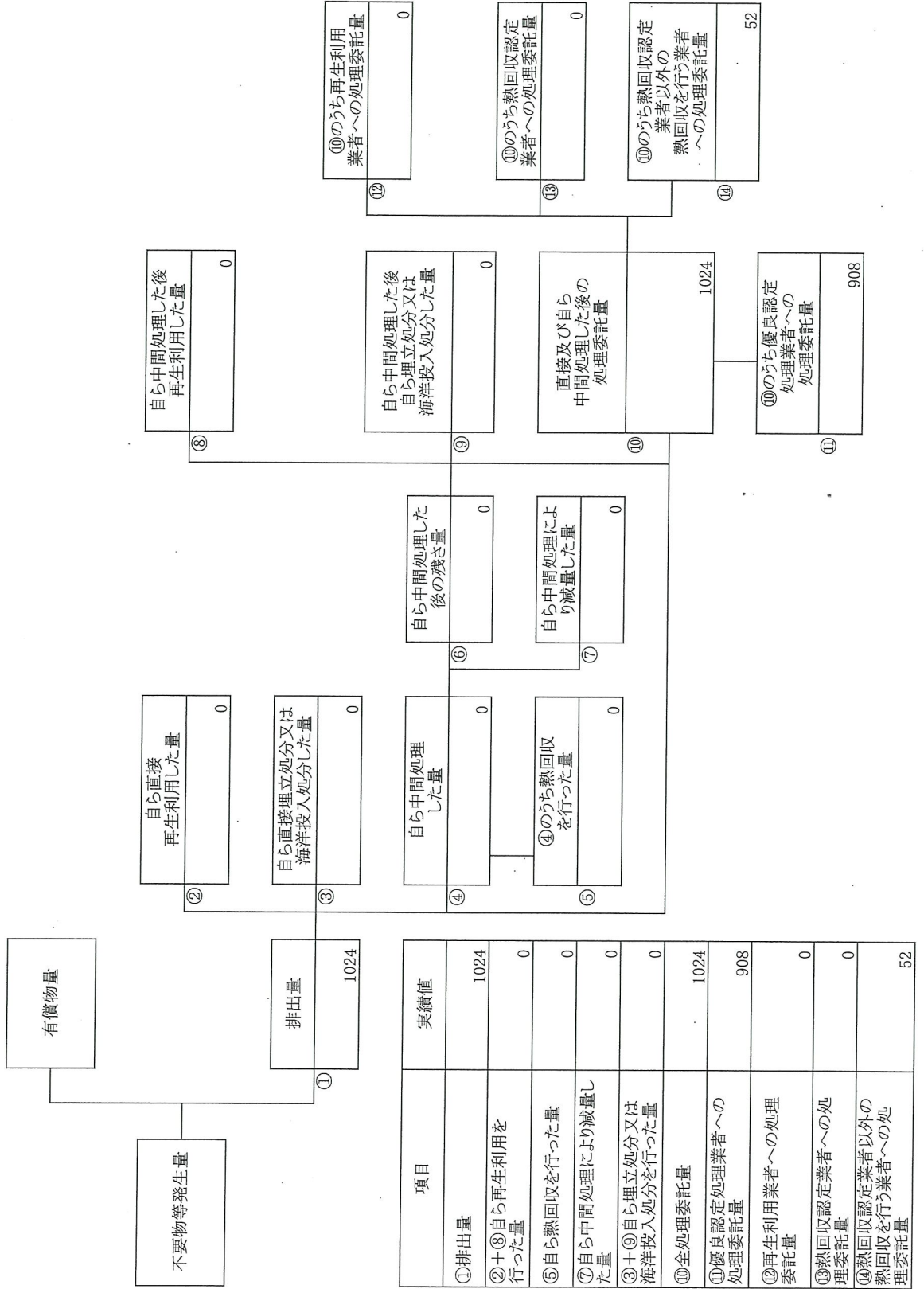


計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 一般廃油)



項目	実績値
①排出量	33
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	33
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20

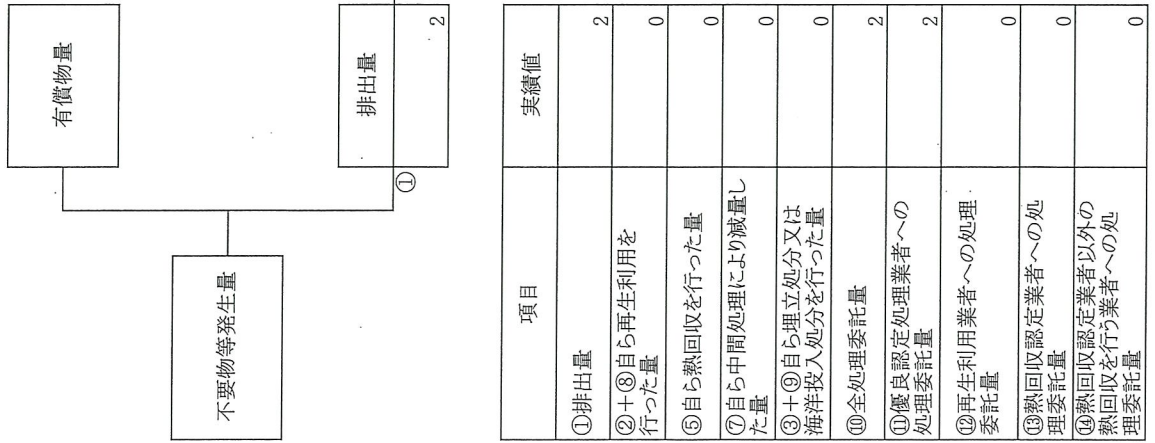
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	1024
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1024
⑪優良認定処理業者への処理委託量	908
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	52

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

計画の実施状況



②	自ら直接再生利用した量	0
---	-------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	---------------------	---

④	自ら中間処理した量	0
---	-----------	---

⑥	自ら中間処理した後の残量	0
---	--------------	---

⑦	自ら中間処理による減量した量	0
---	----------------	---

⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	0
---	------------------	---

⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---	----------------------------	---

⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	2
---	---------------------	---

⑪	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	2
---	---------------------	---

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
---	-------------------	---

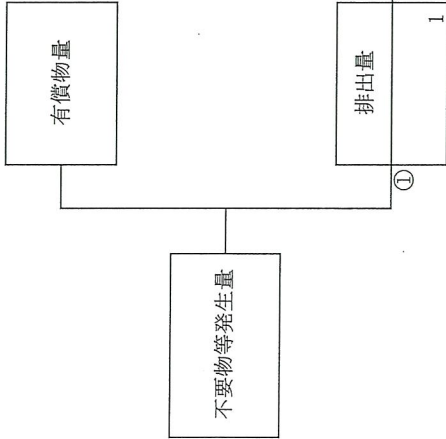
⑬	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
---	--------------------	---

⑭	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
---	-------------------------------	---

項目	実績値
①排出量	2
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理による減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(産業廃棄物の種類: ガラスくず)

計画の実施状況



項目	実績値
① 排出量	1
② + ③ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③ + ⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	1
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	1

② 自ら直接再生利用した量	0
---------------	---

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
-----------------------	---

④ 自ら中間処理した量	0
-------------	---

⑤ ④のうち熱回収を行った量	0
----------------	---

⑥ 自ら中間処理した後の残存量	0
-----------------	---

⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
------------------	---

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	0
--------------------	---

⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
---------------------	---

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1
-----------------------	---

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	0
-----------------------	---

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
---------------------	---

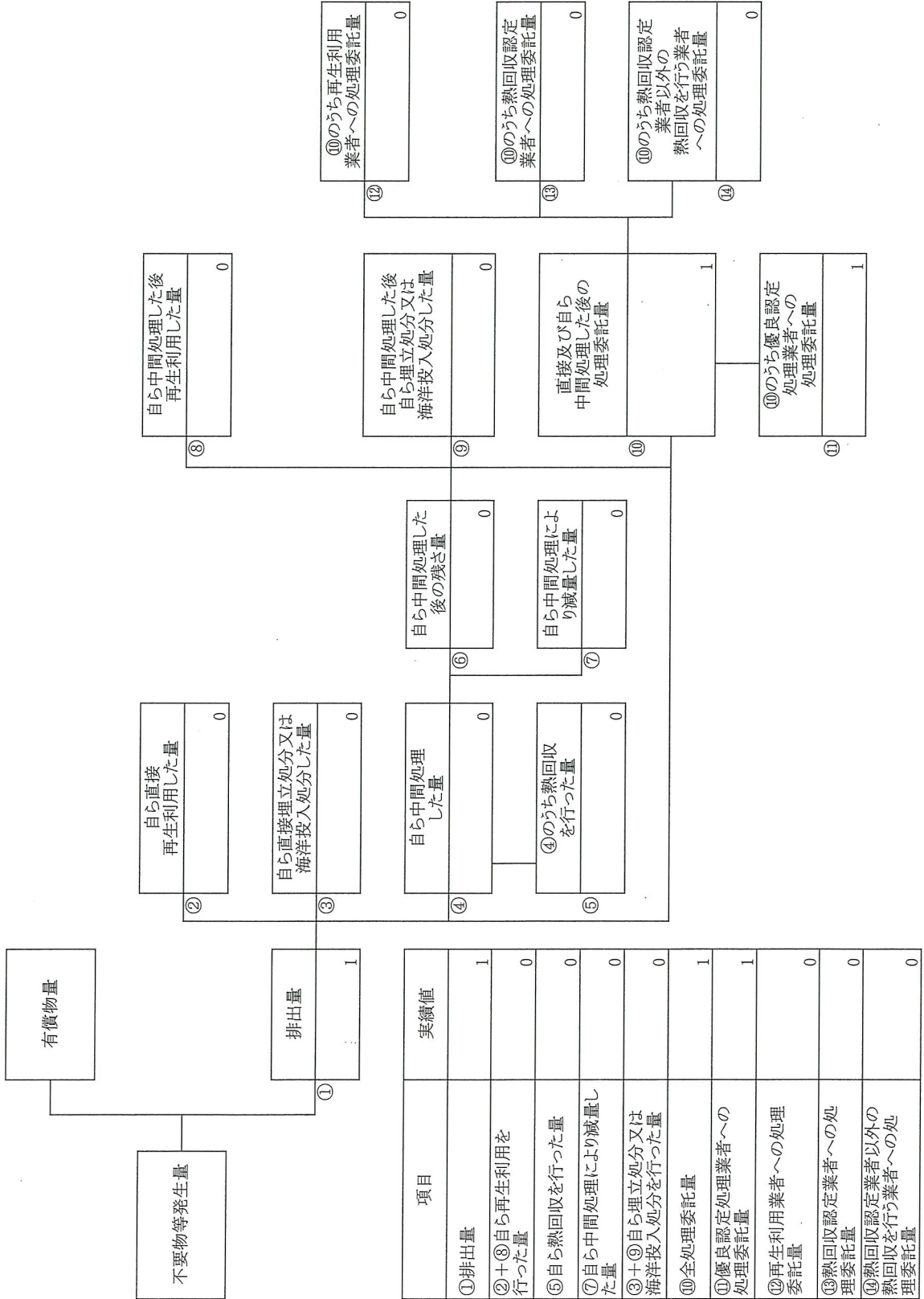
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
----------------------	---

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	1
------------------------------------	---

蛍光灯

(産業廃棄物の種類:

計画の実施状況



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。